

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公表番号】特表2004-513006(P2004-513006A)

【公表日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-017

【出願番号】特願2002-539162(P2002-539162)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 J 7/12

B 6 0 J 7/20

【F I】

B 6 0 J 7/12 G

B 6 0 J 7/20

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月9日(2003.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも後部ルーフ部材と同後部部材の前部に設けられた第1の部材とからなり、これら2つの部材はそれらが車室を覆う位置、及びそれらが車両の後部荷物室内にほぼ水平に重ね合わされる位置の間を可動である車両用格納式ルーフにおいて、前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は前記車両のシャーシ及び前記後部部材に連接された少なくとも1つのアームによって制御されることと、前記後部部材は同後部部材及び前記第1の部材に連接された2つのレバーによって同第1の部材に連結され、これら2つのレバーは変形自在な四辺形を画定することと、前記アームは前記後部部材及び第1の部材を連結する2つのレバーのうちの一方と同アーム及び同レバーに連接された連結ロッドによって関節を有した方式にて連結されることと、前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は前記後部部材の後部に担持され前記荷物室内部に延伸する溝内にて摺動可能に係合されたフィンガーよりて制御されていることとなる、車両用格納式ルーフ。

【請求項2】

前記ルーフは前記第1のルーフ部材の前部に設けられた第2のルーフ部材をさらに有し、前記第1の部材は同第1の部材及び前記第2の部材に連接されたさらなる2つのレバーによって同第2の部材に連結され、これら2つのレバーは変形自在な四辺形を画定し、及び、前記アームには連結されず、かつ前記後部部材及び前記第1の部材を連結するレバーは前記第1の部材及び前記第2の部材を連結するレバーのうちの一方に前記レバーに連接された連結ロッドによって連結されている、請求項1に記載の車両用格納式ルーフ。

【請求項3】

前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は、前記シャーシ及び前記後部部材の一部と連接された第2のアームによってさらに制御される請求項1又は2に記載の格納式ルーフ。